

令和4年度 放課後等デイサービス だいち 自己評価表

	設問	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫展等
備環境・体制整	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	職員の配置数は適切であるか	○			
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			入口、トイレに手すり(今年度は身体障害児なし)
業務改善	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか		○		目標設定と振り返りは実施しているがマニュアル化していない。少人数なのでいまのところスタッフ会議事前打ち合わせや振り替え等で課題のあぶりだしてきている。
	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	コロナ禍で探すことが困難であった
	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	○			県主催権利擁護・虐待防止(管理者)研修・新職員の強度行動障害・福祉有償運送講習受講
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			PEP-3検査を実施し評価した
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			毎月の会議の中で、新しいアイデアを出し合い実践している
	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等でサービス計画を作成しているか	○			
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自立活動・学校との連携・創作活動(季節ごと)地域交流・余暇・調理等
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			教育委員会主催の連絡会等に児発管出席
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			zoomにて障害理解について研修実施した
放課後学童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	○			おもちゃ図書館が再開され参加した	

連携	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	コロナ感染のため未開催
	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		個別に相談に応じている
保護者への説明責任	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ほとんどの保護者が、就労しており且つ他事業所と併用のため参加者がいない。
	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	○			
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	○			
	個人情報に十分注意しているか	○			
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		近隣の福祉センターとの交流活動を実施
非常時の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルに添って研修を実施
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			マニュアルに添って研修を実施
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルに添って研修を実施
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	虐待防止委員会と身体拘束等についてのマニュアルを作成済。次年度は文章にて了承を得る
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者経由で指示をもらっている
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
コロナについて	今年度はコロナ感染予防で長期休校や外出制限等不自由があったが活動に創意工夫に努めたか	○			
	だいちの感染予防(原則マスク・消毒・検温等)は十分であったか	○			
	次年度もコロナ感染は続くと思われるが、今後のやるべき感染予防や課題について検討しているか	○			
増やした物品等	読み聞かせ絵本・図鑑・レゴブロック、調理道具(ポップコーン、綿あめ製造機)等				
設備・バリアフリーでの改善点	送迎場所が増えたため送迎車を増やした(安全装置のオーダーを実施)				
今後の活動について	コロナが収束している間は外出活動を増やし、社会性がついていくよう努める。次年度も運動不足にならないよう室内で運動できる遊具を使うプログラムを実施していく。苦手な指先の微細活動を行う。				
<b>総括</b>					
<p>全体としては、改善部分もあったがいまだコロナ禍で社会との交流や学校との連携等厳しい点が多くあった。感染予防に努めたものの、夏にはだいち利用者からコロナ感染者が発生し2週間閉所した。</p> <p>◆PEP-3検査で個々の特性を理解することができた。</p> <p>◆コロナで保護者に施設を見てもらうことが出来なかった。</p> <p>◆送迎の時に希望する活動や好きなもの等について保護者に聞き、要望があるものは即購入した。</p> <p>◆虐待防止・身体拘束についての研修を実施し、権利擁護の意識を高めるよう努めた。</p> <p>◆人員確保の確保が非常に難しく、大きな課題となっている。</p>					